



校報 たいらだて

第 5 号

八幡平市立平館小学校

文責：長山 政志

修学旅行に行ってきました！

6月22日（木）～23日（金）の2日間、6年生9名は函館市に行ってきました。修学旅行のテーマは、「函館市と八幡平市の魅力を発見しよう」でした。事前の学習でテーマに沿って見学場所を決めたり、弥生小学校との交流に向けて準備を進めたりしてきました。弥生小学校との交流に向けては、事前にオンラインで自己紹介等の交流をしました。当日は、お互いの市についてまとめたものを伝えました。観光や見どころ、グルメなどその市ならではのものを紹介しました。さらに、平館小学校のことも紹介した後に神楽を踊って見せました。弥生小学校では、ソーランを踊っていて、一緒に踊ってさらに交流を深めました。見学では、公会堂や旧イギリス領事館、五稜郭などで異国情緒あふれる建物や函館の歴史について見分を深めました。運に恵まれ函館山の夜景も満喫しました。



【弥生小学校の仲間と】



【交流でのプレゼンテーション】



【五稜郭にて】



【摩周丸にて】



【旧函館区公会堂にて】



相撲フェスティバルに向けて

土俵完成！

6月25日（日）平館相撲同好会の皆様、保護者の皆様方のご協力により土俵づくりを行いました。お陰様で立派な土俵が出来上がり、7月14日（金）の相撲フェスティバルの土俵が整いました。休日にもかかわらずご協力いただきました皆様に心よりお礼申し上げます。これに先立ち6月19日（月）には、第2回の実行委員会を開催しました。フェスティバル当日に向けた具体的な取組みを協議いただきました。今後は同好会の皆様のご協力のもと、体育の学習を通して相撲に親しむ学習を行います。保護者の皆様には、当日の係や会場準備などご協力をいただくこともございます。ご面倒をおかけいたしますが、なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。



【土俵づくりありがとうございました】

スマホ・ゲームについて考える

現代の生活は、様々な機器をオンラインで利用しないことの考えられない時代となりました。スマホやタブレット、ゲーム等各ご家庭では、ルールを決めながら子ども達に利用させていることと思います。つい最近目にしたのですが、スマホ使用と学力の関係を調べてきた東北大学加齢医学研究所のデータに興味深いものがありました。それは、以下のものです。

中学生を対象に2015～2017年の間に追跡調査をしたものだそうです。そのデータから見たものは、

①1年生時でスマホ使用はなかった子ども達

⇒その後の使用時間「1時間未満」だった子ども達は、2年後の成績は伸びていました。

⇒スマホ等の使用時間が「1時間以上」になった子ども達の成績は、2年後の成績は下がっていました。

②1年生時でスマホの使用時間が「1時間未満」でとどめられていた子ども達

⇒スマホ等を「使用しなくなった」、そのまま「1時間未満」の子ども達の成績は上昇していました。

③「1時間以上」に使用時間が延びてしまった子ども達

⇒成績は低下していました。

④2015年度にスマホ等を「1時間以上」使用していた子ども達

⇒2年後にスマホ等を「使用しなくなった」、または「1時間未満」に減らすことができた子ども達の成績は、持ち直していました。

⇒そのまま「1時間以上」使い続けてしまった子ども達の成績はさらに下がってしまいました。



これらの結果から、スマホなどの利用時間をコントロールできればよいということがわかります。しかし、使用をやめられた子ども達はわずか2.9%、1時間未満に減らせた子ども達もわずか10.1%しかいなかったとのことです。このことから言えることは、子ども自身が自己管理能力を高めていけるようにしなければならないということです。せっかく子ども達が努力をしても、成果が伴わないということになってしまいます。私たち大人が子ども達のためにできることは、管理するところはしっかり管理しながら、どっぷりとはまってしまう依存性が発揮されないよう自己管理能力を育てることではないでしょうか。

ある日の出来事から・・・

- ある日の登校時のことです。各学年で鉢や畑に植物を植えています。子ども達は、登校するなりじょうろやペットボトルを手に水をあげています。植物が大きく丈夫に育ってほしい、という思いが伝わってくるようです。「大きくなったね。」と声をかけるとこんな一言がありました。「つるが巻き付いてきたんだよ。」「〇〇くんのは、一番大きいんだよ。」生長の様子をよく観察しているだけでなく、友達の植物の様子もよく見て気にかけてくれていることをうれしく思いました。
- 修学旅行での一コマです。自分たちで選択した学習場所に向かっている時のことです。ガイドの地図を見て悩み始めました。お互いの顔を見つめ地図を見つめ、ああでもない、こうでもないかと相談する姿を見ました。また、弥生小学校との交流後に学校を後にするときには、姿が見えなくなるまでお互いに手を振っていました。友達とのかかわりを通して体験したこと、感じたこと、大切な思い出になったことと思います。



【子ども達がお世話している畑】